

**iNFONET**  
STOCKCODE:4444

株式会社インフォネット

# 決算説明資料

2026年3月期 第1四半期

**CONTENTS**

01. 会社概要、事業紹介
02. 2026年3月期 第1四半期 決算概況
03. TOPICS

CONTENTS

01. 会社概要、事業紹介

02. 2026年3月期 第1四半期 決算概況

03. TOPICS

# 私たちは、技術と創造力で企業のWebコミュニケーションに 進化をもたらし、成長を加速させるパートナーです。

## Webを起点とした情報発信のサイクル

### 顧客の課題

- ・課題を顕在化できていない
- ・伝えるべき情報の整理が出来ていない
- ・ターゲットが明確でない
- ・Web戦略の立て方がわからない
- ・読み手視点のコンテンツ制作ができない

### 提供サービス例

- ・ブランディング ・コンサルティング
- ・プランニング ・ワークショップ など

### 顧客の課題

- ・最適な表現手法がわからない
- ・有効な情報発信手段がわからない
- ・タイムリーに情報発信したい
- ・魅力的なデザイン、ライティングができない

### 提供サービス例

- ・CMS・Webサイト制作（コーポレートサイト/IRサイト/採用サイト/ブランドサイトなど）
- ・LP・オウンドメディア・SEO
- ・ライティング など

LENSAhub LENSAswriter

最適な情報・メッセージを整理する

## 01. 整理

## 02. 発信

表現し伝える

情報をユーザーが求める形に整理し配布する

## 04. 最適化

## 03. 検証

効果を検証する



### 顧客の課題

- ・最適化する方法がわからない
- ・蓄積データの活用方法を知らない
- ・パーソナライズされた情報提供をしたい

### 提供サービス例

- ・検索エンジン・データマイニング
- ・DMP・MA など ※

cogmo Search cogmo Enterprise cogmo Attend

※一部現在は提供していない将来的な構想も含まれます。

### 顧客の課題

- ・最適なKPIがわからない
- ・効果測定の方法がわからない
- ・コンテンツ制作で手一杯で検証まで手が回らない

### 提供サービス例

- ・分析コンサルティング・運用サポート
- ・保守 など

MEGLASS finder

株式会社 インフォネット (INFONET inc.) 証券コード 4444

代表 代表取締役社長 古宿 智

本社 東京都港区新橋4-21-3 新橋東急ビル7F

拠点 東京本社／福井支社／大阪支社

設立 2002年10月15日

従業員数 単体100名 連結144名 (2025年6月30日時点)  
※派遣社員/パート・アルバイトをのぞく

プロダクト

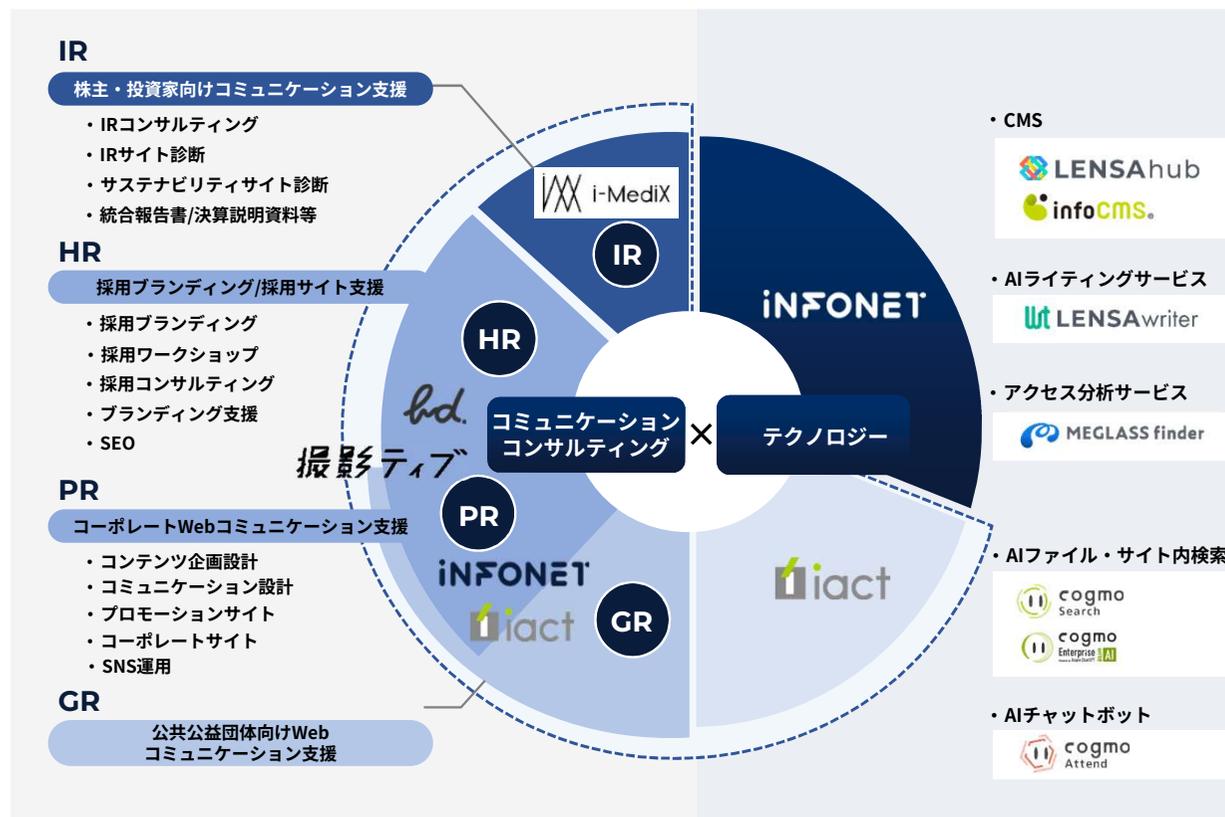





グループ会社 (持分比率)

- 株式会社アイアクト (100%)
- 株式会社i-MediX (100%)
- 株式会社ブランドデザイン (100%)
- 株式会社撮影ティブ (100%)

## 現在のインフォネットグループの主力サービス分担



PURPOSE

# Change to Value , Chain the Value

価値をつくり、その価値は、社会全体へ連鎖する。

MISSION

技術と創造力で企業のWebコミュニケーションに  
進化をもたらし、成長を加速させる。

VISION

そのビジネスに、伝える力を。

VALUE

## Do Fast

スピード・プロフェッショナル

新しい技術や価値観を素早く取り入れ、  
合理的に選択していくスピード感ある仕事を。

## Be First

挑戦・リーダーシップ

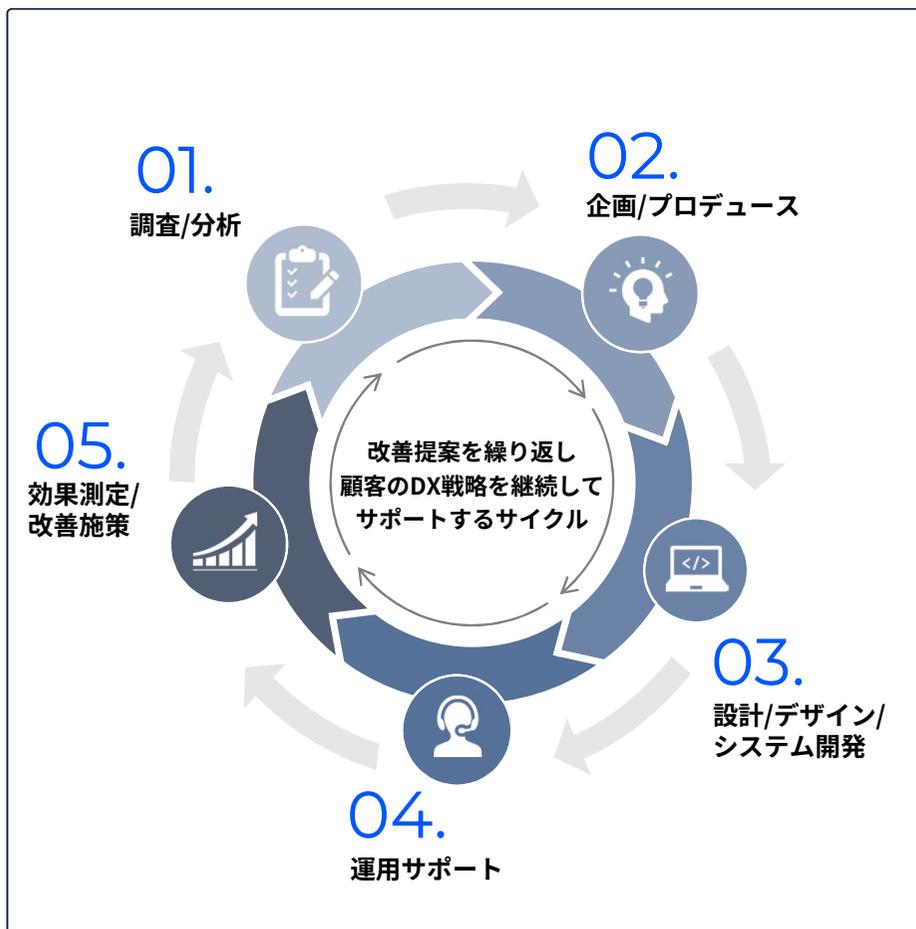
当事者意識と誠実さを持ち、  
全員が成功を導く“主体”となる。

## In Humor

遊び心・創造性

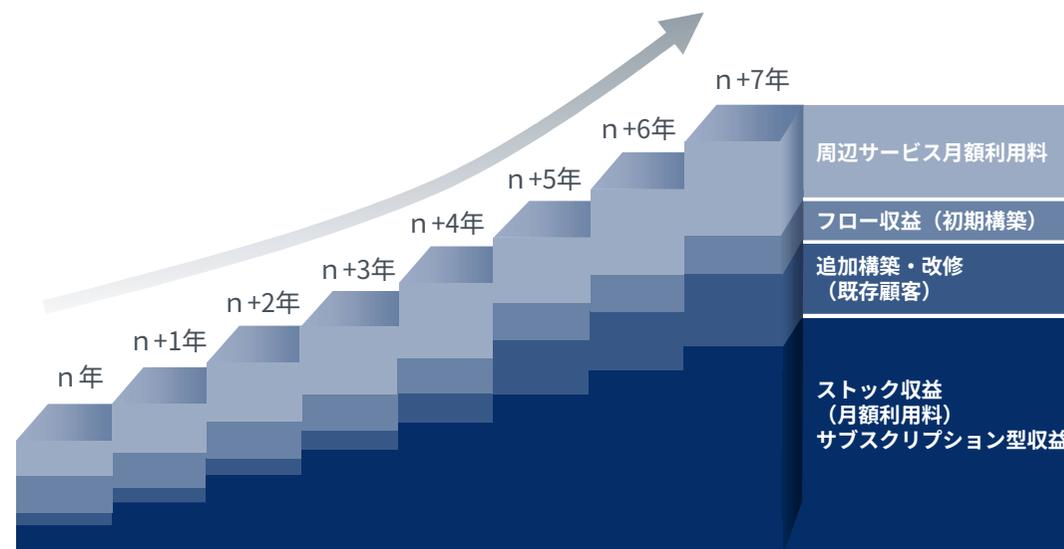
「仲間を、お客様を、そして世界を、  
あっ！と驚かせ笑顔にする。」  
すべての原動力の源泉はここに、  
私たちは創造し続ける。

## ワンストップサービス



## 収益モデル

新規顧客の受託開発(初期構築)を行い顧客数が増加することにより、既存顧客の追加構築・改修等収益とサブスクリプション型収益(月額利用料) + 周辺サービスのサブスクリプション型収益(月額利用料)が積み上がるモデル



CONTENTS

01. 会社概要、事業紹介

02. 2026年3月期 第1四半期 決算概況

03. TOPICS

## ハイライト（累計）

## 売上高

4.20 億円

前年同期比 ▲2.1%減

## 売上総利益

1.44 億円

前年同期比 ▲15.7%減

## 営業利益

▲0.66 億円

前年同期比 ▲64 百万円減

## ストック売上高

2.54 億円

前年同期比 +0.1%増

## フロー売上高

1.65 億円

前年同期比 ▲5.3%減

## 売上構成比

Web/CMS事業 83.6 %

AI事業 16.4 %

今期の売上計画が下期偏重の中、売上獲得に向けた人員補強及びオフィス移転に伴うコストが1Qに集中したことで、前年同期比で、2.1%の減収、15.7%の減益となった。

なお、売上高についてはWeb/CMS事業の大型案件が顧客都合によりペンディングとなり、2Q以降にずれ込んだことも影響しているものの、計画当初よりコスト増や売上の下期偏重は見込んでおり、売上高、利益額ともに概ね計画通り進捗している。

## 業績サマリー(累計/グループ連結)

(単位：百万円)	2025年3月期 第1四半期		2026年3月期 第1四半期			
		売上高比		売上高比	増減額	前年同期比
売上高	429	100.0%	<b>420</b>	<b>100.0%</b>	<b>▲8</b>	<b>▲2.1%</b>
売上原価	257	60.0%	<b>275</b>	<b>65.5%</b>	<b>+18</b>	<b>+7%</b>
売上総利益	171	40.0%	<b>144</b>	<b>34.3%</b>	<b>▲27</b>	<b>▲15.7%</b>
販管費	172	40.3%	<b>210</b>	<b>50.0%</b>	<b>+37</b>	<b>+21.9%</b>
営業利益	<b>▲1</b>	<b>▲0.3%</b>	<b>▲66</b>	<b>▲15.8%</b>	<b>▲64</b>	<b>-</b>
経常利益	<b>▲2</b>	<b>▲0.6%</b>	<b>▲68</b>	<b>▲16.2%</b>	<b>▲65</b>	<b>-</b>
当期純利益	<b>▲17</b>	<b>▲4.1%</b>	<b>▲87</b>	<b>▲20.9%</b>	<b>▲70</b>	<b>-</b>

## 業績サマリー(累計/iNFONET単体)

(単位：百万円)	2025年3月期 第1四半期		2026年3月期 第1四半期			
		売上高比		売上高比	増減額	前年同期比
売上高	259	100.0%	<b>212</b>	<b>100.0%</b>	<b>▲46</b>	<b>▲18.1%</b>
売上原価	141	54.7%	<b>157</b>	<b>74.0%</b>	<b>+15</b>	<b>+10.9%</b>
売上総利益	117	45.3%	<b>55</b>	<b>26.0%</b>	<b>▲62</b>	<b>▲53.1%</b>
販管費	92	35.8%	<b>134</b>	<b>63.1%</b>	<b>+41</b>	<b>+44.3%</b>
営業利益	24	9.5%	<b>▲78</b>	<b>▲37.1%</b>	<b>▲103</b>	-
経常利益	69	27.0%	<b>▲64</b>	<b>30.4%</b>	<b>▲5</b>	-
当期純利益	53	20.5%	<b>▲52</b>	<b>24.6%</b>	<b>▲0</b>	-

2026年3月期 第1四半期 決算概況

## PL増減比較

Web/CMS事業の減収により売上高は前年同期比▲8百万円となった一方、AI事業はフロー収益が+669.2%、ストック収益が+28.1%と大きく伸長し、AI事業の売上構成比が16.4%へ上昇（前年同期比+6.7pt）。売上総利益・営業利益・経常利益はマイナスでのスタートとなったが、いずれも1Q計画に織り込み済みであり、2Q以降の改善に向け成長領域への投資、案件積上げを進めている。

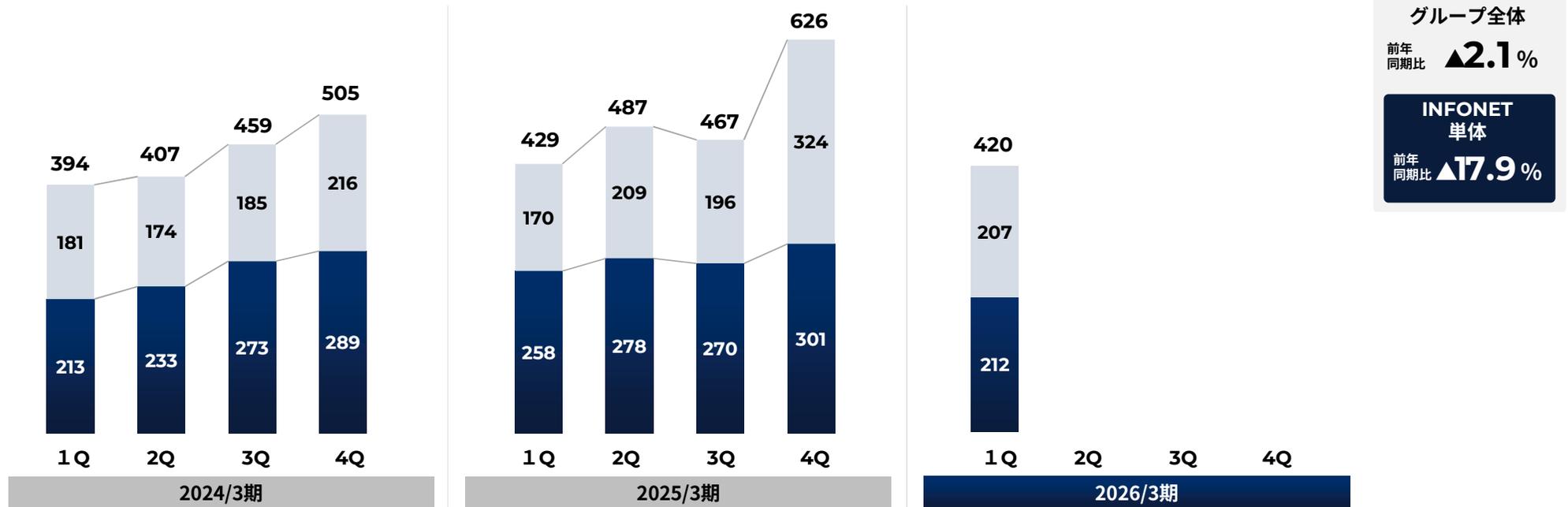
(百万円)	2024年3月期1Q	2025年3月期1Q	2026年3月期1Q	増減額(前年同期比)
売上高	394	429	420	▲8
Web/CMS関連事業	346	387	351	▲36
売上構成比	87.7%	90.3%	83.6%	▲6.7pt
AI関連事業	48	41	68	+27
売上構成比	12.3%	9.7%	16.4%	+6.7pt
売上総利益	156	171	144	▲27
売上総利益率	39.63%	39.97%	34.40%	▲5.6pt
営業損益	18	▲1	▲66	▲64
営業損益率	4.62%	▲0.33%	▲15.75%	▲15.4pt
経常損益	0	▲2	▲68	▲65
経常損益率	0.07%	0.62%	▲16.20%	▲15.6pt
当期純損益	▲14	▲17	▲87	▲70
当期純損益率	▲3.64%	▲4.10%	▲20.94%	▲16.8pt

※Web/CMS関連事業売上高とAI関連事業売上高の合計に誤差が出ている場合がありますが、それぞれの数値を千円未満切り捨てとしているためです。

## 業績サマリー(業績推移/グループ連結)

### 売上高実績 インフォネット/その他子会社内訳 (Q/Q)

Web/CMS事業は例年4Qに偏重する受注構造が影響し1Qは緩やかな立ち上がりとなったものの、2Q以降の案件積み上がりを見込む。インフォネット単体では前年同期比▲17.9%、グループ全体では▲2.1%と、足元では前年を下回るスタートとなったが、いずれも計画想定の範囲内で推移。



※グループ間取引にかかる連結調整後の数値のため、P.11業績サマリー(累計/INFONET単体)の数値とは誤差があります。

業績サマリー(業績推移/グループ連結)

売上高実績

フロー/ストック内訳 (Q/Q)

大型案件のペンディングにより1Qのフロー収益は前年同期比▲5.3%、ストック収益は+0.1%と横ばい。公共領域の大型システム案件がプロジェクト終了に伴い解約となったことから高単価月額契約が減少し、ストック収益は前年並みの推移。

フロー  
ストック  
(百万円)

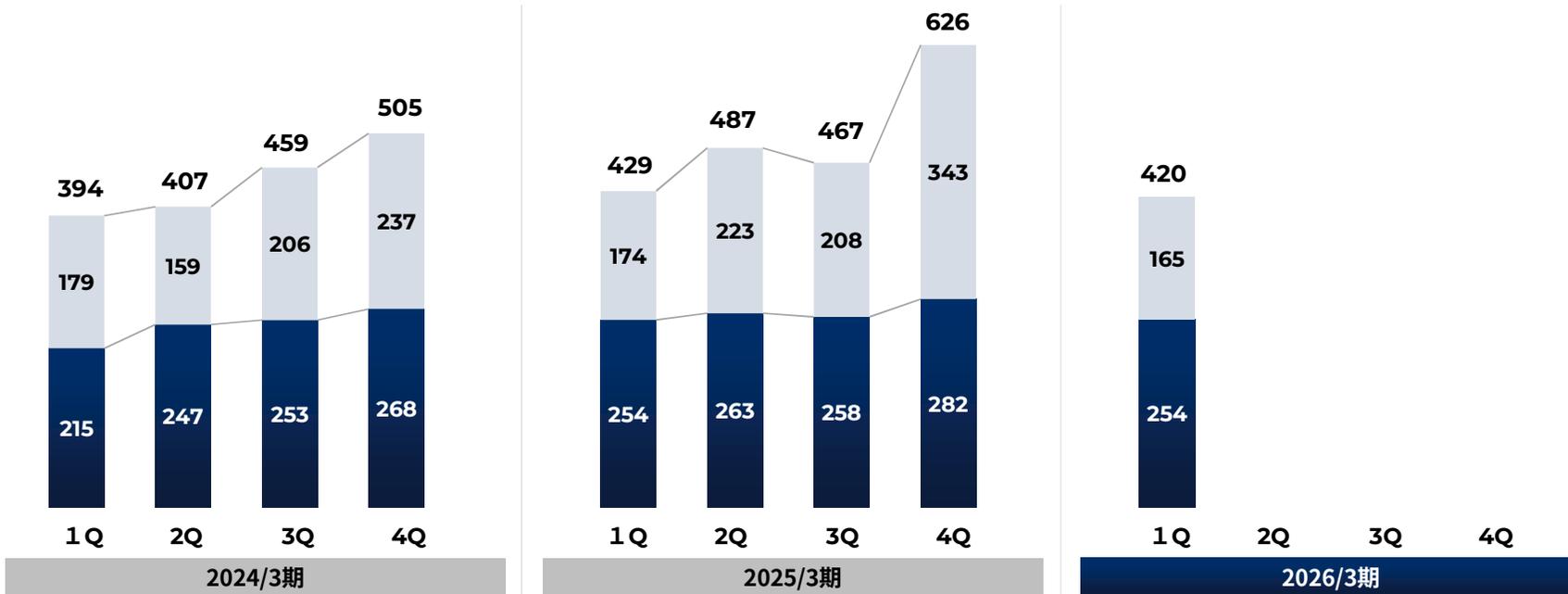
1Q

フロー

前年  
同期比 ▲5.3%

ストック

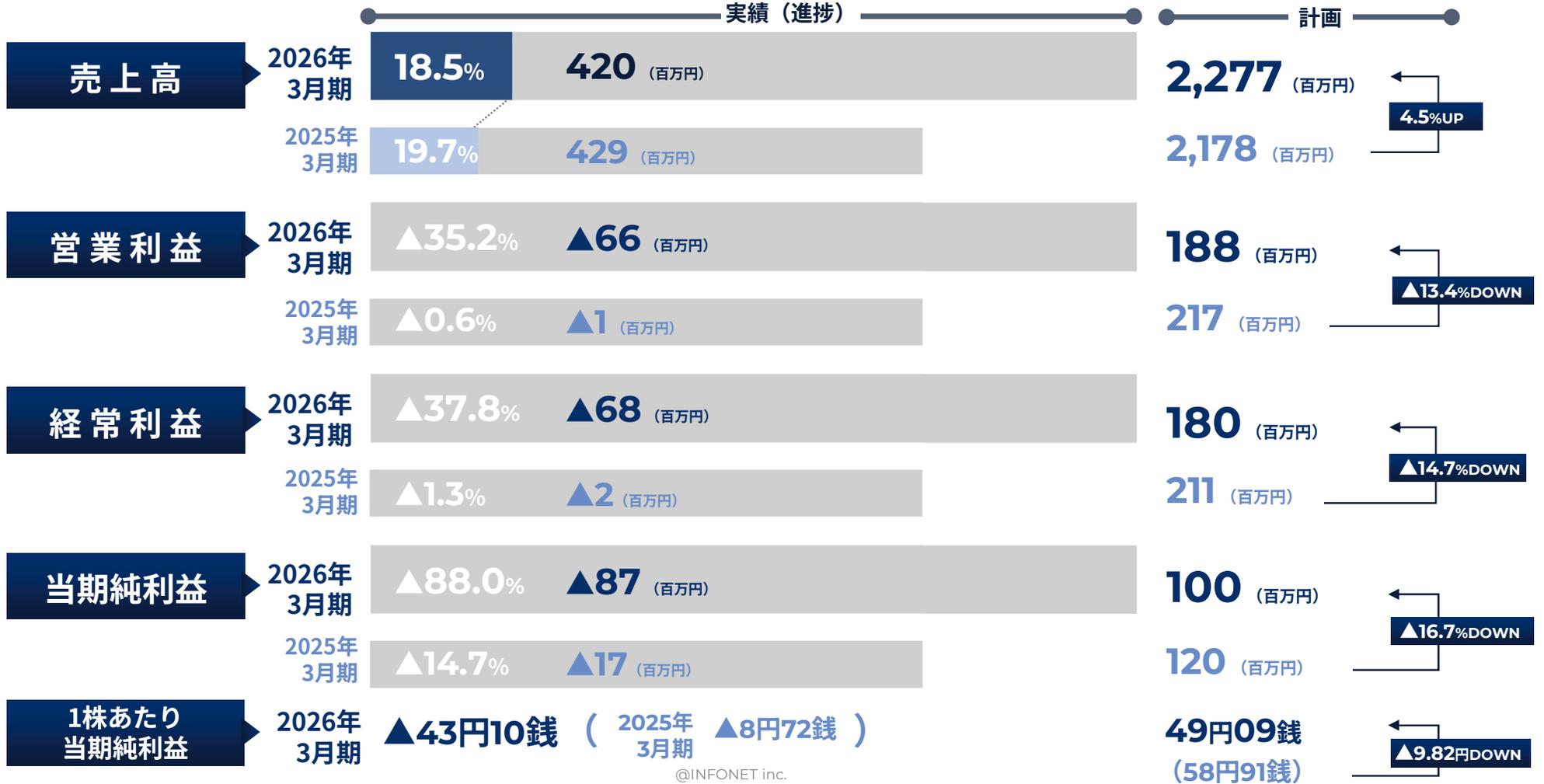
前年  
同期比 +0.1%



2026年3月期 第1四半期 決算概況

## 業績サマリー(対通期計画 進捗)

売上高は年間計画に対して18.5%の進捗。受注・売上計上の多くを2Q以降に想定しているほか、オフィス移転費用や人員補強など先行投資がかさみ、利益はマイナスでのスタートとなった。ただし、いずれも1Q想定範囲内であり、2Q以降の売上計上とコスト回収により改善を見込む。



©iNFONET inc.

2026年3月期 第1四半期 決算概況

## 受託開発受注高実績(Q/Q)

大型案件の顧客都合によるペンディングおよび受注時期の期ずれが影響したものの、2Q以降に案件積み上がりを見込む。受注見込精度とクロージングプロセスは前期に続き重点課題と位置付け、強固な受注基盤構築に向けた取組みを進めている。

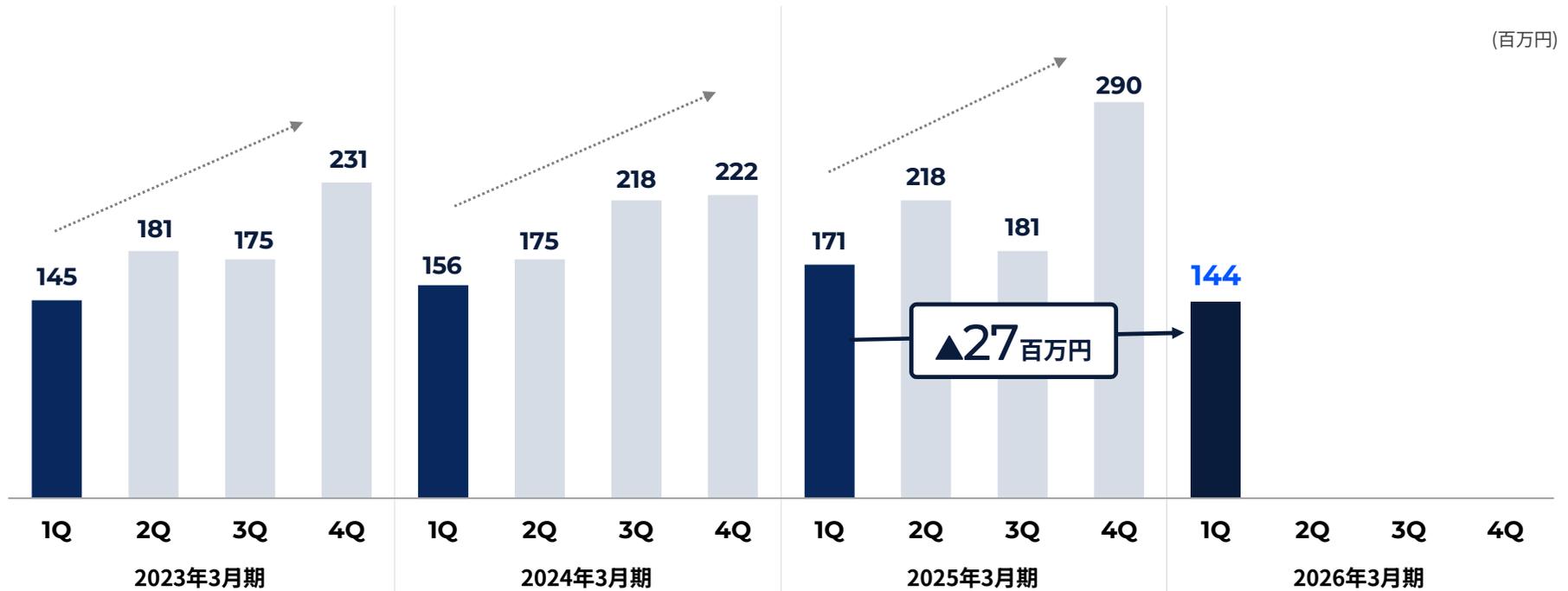


※各年度の棒グラフは百万円未満は表示していませんが、増減額はすべての桁を切り捨てずに計算したのち百万円単位で記載しているため、グラフ上で見る増減額とは若干の差異が生じる場合があります。

2026年3月期 第1四半期 決算概況

## 売上総利益推移（四半期）

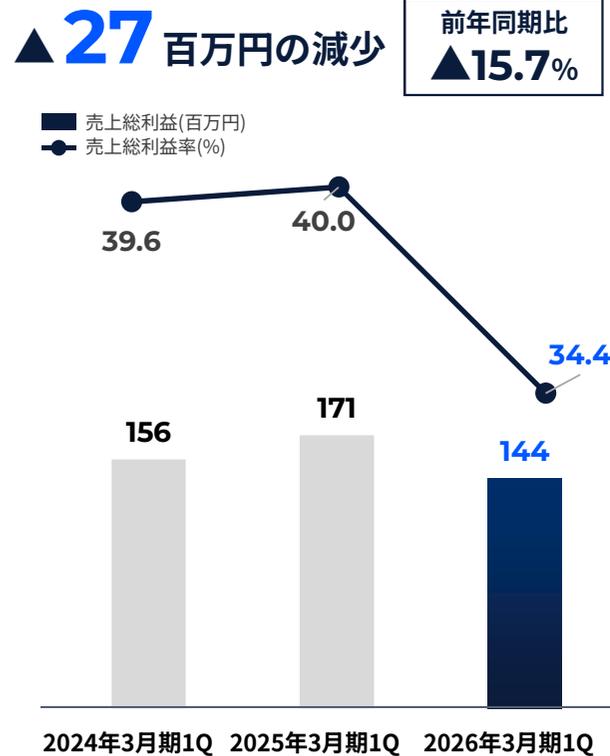
4Q偏重の事業構造に加え、物価高騰によるサーバー関連コストの上昇やLENSAhub償却開始など先行投資負担が続き、1Qの売上総利益は前年同期比▲27百万円で着地。



2026年3月期 第1四半期 決算概況

## 売上総利益実績（累計比較）

### グループ全体



売上総利益は144百万円（前年同期比▲15.7%、売上総利益率34.4%）と前年を下回り、インフォネットにおける大型案件ペンディングおよび先行投資負担が主因。一方、アイアクトは収益性改善（30.7% → 42.5%）、i-MediXやブランドデザインでも採算性向上が進み、グループ全体としてはAI、IR支援、クリエイティブ領域の利益貢献が拡大している。

(百万円)	INFONET	IACT	i-MediX	ブランドデザイン	撮影タイプ	連結仕訳	合計
売上総利益	55	77	2	6	2	1	144
売上総利益率	26.0%	42.5%	56.2%	64.3%	11.6%	-	34.4%
<b>【参考】</b>							
前期売上総利益	117	50	0	2	-	0	171
前期売上総利益率	45.3%	30.7%	18.3%	47.1%	-	-	39.9%

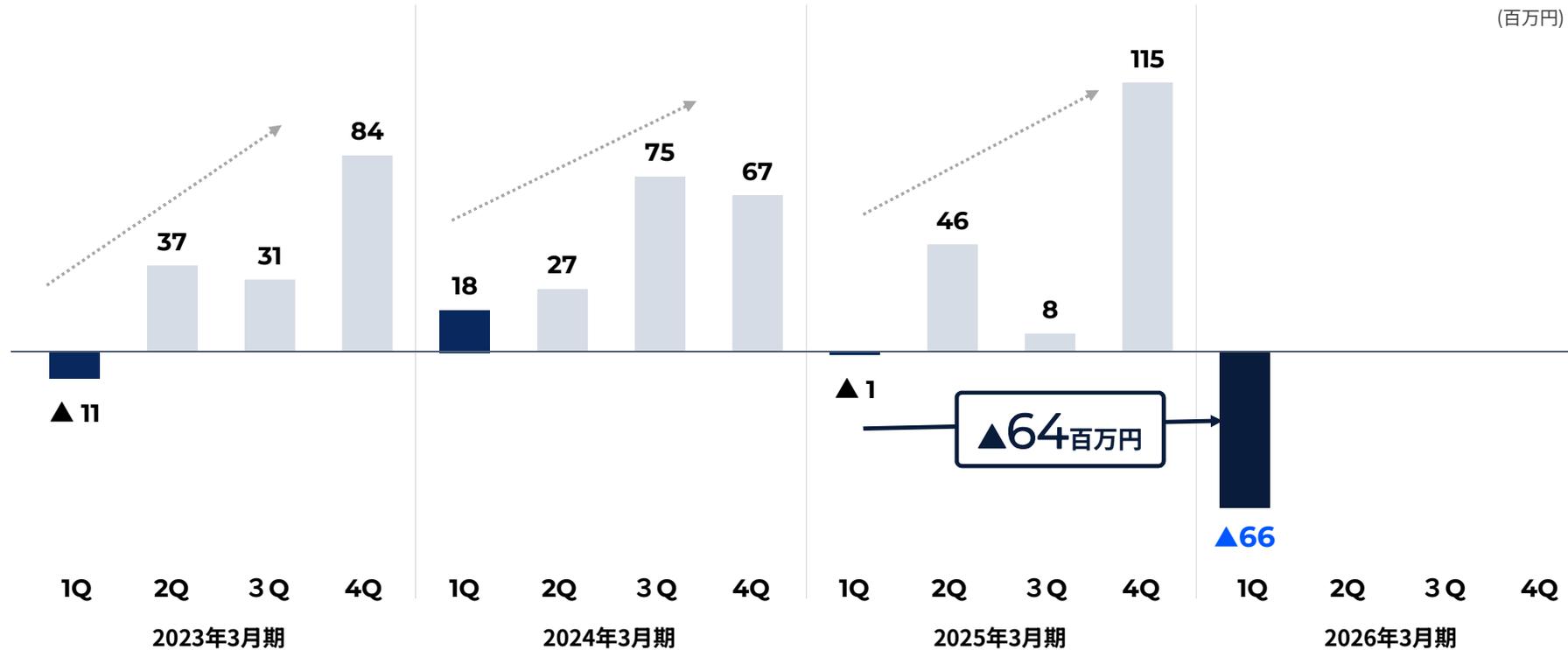
※各年度の棒グラフは百万円未満は表示していませんが、増減額はすべての桁を切り捨てずに計算したのち百万円単位で記載しているため、グラフ上で見る増減額とは若干の差異が生じる場合があります。

2026年3月期 第1四半期 決算概況

## 営業損益推移（四半期）

売上総利益の減少に加え、オフィス移転準備費用や人員補強に伴うコスト増が影響し、1Qの営業損失は▲66百万円となった。ただしコスト増は想定内であり、1Qの計画に対しては有利に推移。4Q偏重型の収益構造を踏まえ、2Q以降の利益改善を見込む。

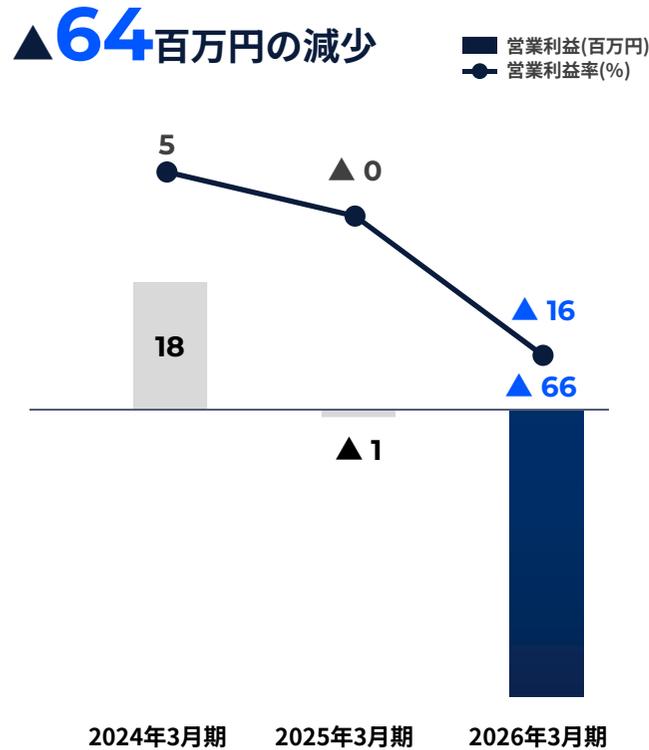
(百万円)



2026年3月期 第1四半期 決算概況

## 営業利益実績(累計比較)

### グループ全体



営業利益は▲66百万円（営業利益率▲15.8%）。インフォネットでは移転準備費用や人員補強等の先行投資が集中し、1Qは▲78百万円となったが、いずれも計画に織り込み済の投資負担によるもの。一方、アイアクト、ブランドデザインは利益改善傾向にある。

(百万円)	INFONET	IACT	i-MediX	ブランドデザイン	撮影タイプ	連結仕訳	合計
営業利益	▲78	29	0	2	▲3	▲15	▲66
営業利益率	▲37.1%	16.1%	1.8%	22.1%	▲17.2%	-	▲15.8%
【参考】							
前期営業利益	24	▲0.6	0.2	▲0.6	-	▲25	▲1
前期営業利益率	9.5%	▲0.4%	8.2%	▲11.4%	-	-	▲0.3%

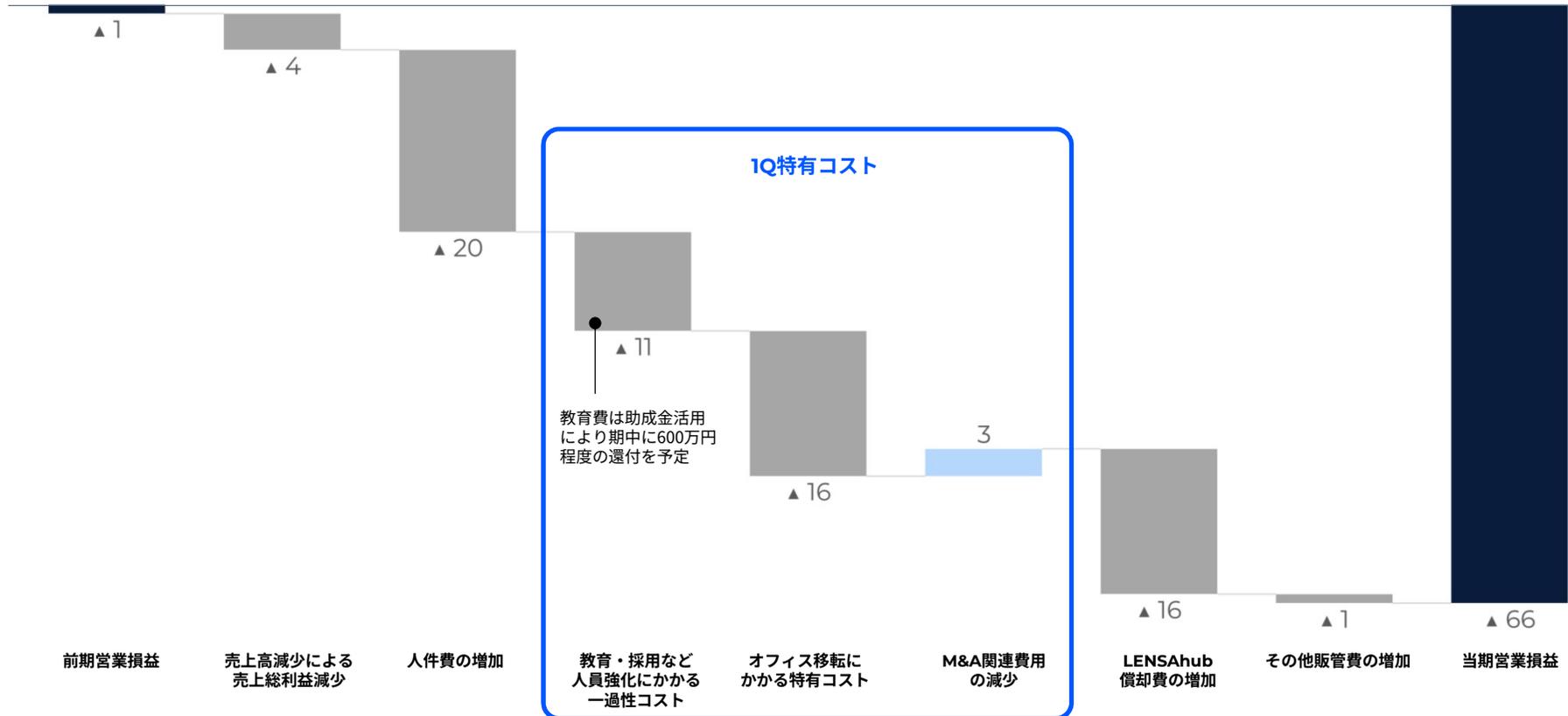
※各年度の棒グラフは百万円未満は表示していませんが、増減額はすべての桁を切り捨てずに計算したのち百万円単位で記載しているため、グラフ上で見る増減額とは若干の差異が生じる場合があります。

2026年3月期 第1四半期 決算概況

## 営業利益増減分析 (Q/Q)

売上高減少、LENSAhub償却費の増加等により売上総利益が減少したことに加え、人員補強に伴う人件費や教育・採用コストの増加、本社移転における二重賃料・原状回復費用・償却費等の特有コストが重なったことから、営業利益は前年同期比▲64百万円となった。教育・採用にかかるコストおよびオフィス移転にかかるコスト（計27百万円）は今期1Q特有のコストであり計画に織り込み済。また、教育コストのうち6百万円程度は助成金活用により期中に還付予定。M&Aは引き続き戦略的テーマとしているものの、1Qにおける関連費用は小さく、前年よりも軽微で推移。

(百万円)



@iNFONET inc.

2026年3月期 第1四半期 決算概況

## BS増減比較

のれん償却や売掛金回収により流動資産が減少し、資産合計は1,882百万円（前四半期末比▲8.5%）。  
また、借入金返済を進めたことから負債合計は833百万円（同▲9.6%）となり、資産・負債ともに減少した。

(百万円)	2025年3月期 4Q	2026年3月期 1Q	増減額 (前Q比)
流動資産	1,112	951	▲161
固定資産	945	930	▲15
資産合計	2,058	1,882	▲176
流動負債	504	454	▲50
固定負債	417	379	▲38
負債合計	921	833	▲88
資本金	291	292	+1
資本剰余金	271	272	+1
利益剰余金	574	486	▲88
純資産合計	1,136	1,048	▲88
負債・純資産合計	2,058	1,882	▲176

※合計に誤差が出ている場合がありますが、それぞれの数値を千円未満切り捨てとしているためです。

CONTENTS

01. 会社概要、事業紹介

02. 2026年3月期 第1四半期 決算概況

03. TOPICS

## 株主優待制度の導入

これまでの株主の皆さまのご支援に深く感謝するとともに、当社株式の魅力をより感じていただき、長期的に保有していただくことを目的として株主優待制度を導入することといたしました。本制度は、長期保有の促進を通じて、当社の企業価値の向上と成長の成果を株主の皆さまと共有することを目的としており、株式の魅力向上や流動性の改善にも寄与するものと考えております。

### (1) 対象となる株主様

基準日（9月末および3月末日）における当社株主名簿に記載または記録された3単元（300株）以上を6か月以上継続して保有されている株主様を対象とします。なお、2025年9月30日を基準日として進呈予定の株主優待については制度導入初年度につき、保有株式数のみを条件とし、継続保有の条件は設けず、3単元（300株）以上を保有する全ての株主様を対象といたします。2026年3月末基準日以降の進呈においては、半年以上の継続保有が条件となり、以降の進呈についても同様といたします。

### (2) 株主優待の内容

対象となる株主に対して、以下のとおりQUOカードを贈呈いたします。

年間株主優待	3単元（300株）以上	QUOカード13,000円分
毎年3月末日	3単元（300株）以上	QUOカード6,500円分
毎年9月末日	3単元（300株）以上	QUOカード6,500円分

## 自己株式の取得

機動的かつ柔軟な資本政策を遂行し、資本効率の向上を通じて株主還元の強化を図るため、自己株式の取得を決定しました。

### 取得に係る事由の内容

■取得対象株式の種類	当社普通株式
■取得し得る株式の総数	30,000株（上限）
■株式の取得価額の総額	45百万円（上限）
■取得期間	2025年6月17日～ 2025年12月16日
■買付方法	東京証券取引所における市場買付

（参考）2025年3月31日時点

発行済株式総数（自己株式を除く）	2,040,693株
自己株式数	0株

### 取得状況（2025年7月31日までの累計）

■取得対象株式の種類	当社普通株式
■取得した株式の総数	16,200株
■株式の取得価額の総額	17,129,100円
■取得期間	2025年6月17日～ 2025年7月31日

## 新代表取締役社長就任

前任の元代表取締役社長執行役員日下部拓也氏は、2025年6月27日をもって任期満了により退任しました。これまでの経営基盤のもと、今後は中長期的な成長戦略の一環として、新規事業・サービスおよび製品の開発・推進をより一層加速していくため、当社の事業開発領域を牽引してきた古宿智氏が2025年6月27日付で新たな代表取締役社長に就任しました。



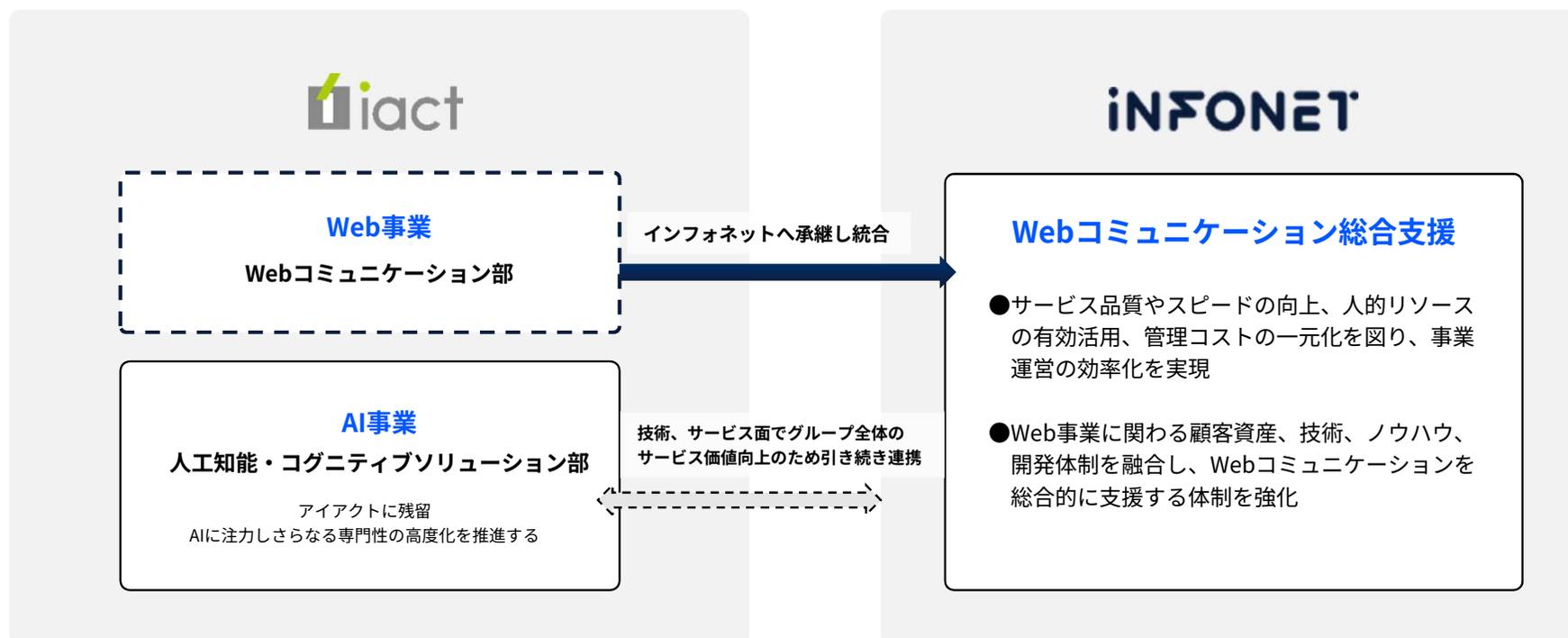
### 新代表取締役社長の主な経歴

## 古宿 智 ふるやど さとし

- 1998年4月 リリカラ株式会社 入社
- 2002年10月 株式会社セラータムテクノロジー 事業開発部 マネージャー
- 2006年5月 株式会社リミックスポイント 事業開発部 マネージャー
- 2012年5月 日本ワムネット株式会社 マーケティング部 商品企画 マネージャー
- 2020年9月 当社 執行役員
- 2021年4月 株式会社アイアクト 取締役 (現任)
- 2021年7月 当社 執行役員 Customer Success Division General Manager
- 2023年4月 当社 執行役員 カスタマーサクセス部/事業推進部 General Manager
- 2023年6月 当社 取締役執行役員 カスタマーサクセス部/事業推進部管掌
- 2025年4月 当社 取締役執行役員 メディアプロデュース部/  
カスタマーエクスペリエンス部/事業開発部管掌
- 2025年6月 当社 代表取締役社長 就任 (現任)
- 2025年6月 株式会社i-MediX 取締役 就任 (現任)
- 2025年6月 株式会社ブランドデザイン 取締役 就任 (現任)
- 2025年6月 株式会社撮影ティブ 取締役 就任 (現任)

## TOPICS

2025年7月1日を効力発生日として完全子会社である株式会社アイアクトが運営するWeb事業を、インフォネットへ会社分割（吸収分割）により承継しました。これによりWeb領域の一元化を図り、事業運営の効率化とサービス品質の向上を図ってまいります。なお、アイアクトのAI事業およびその他グループ各社ともこれまで通り引き続き連携を強化し、グループ一体となってWebコミュニケーション総合支援カンパニーとしてのサービス価値向上を目指します。



## 本社移転

関連グループ会社との連携を強化し新たな提供価値の創出を図ることを目的として、人員の増加と業容拡大のため本社オフィスを増床し、2025年7月22日に東京都港区新橋へ移転しました。新たな経営体制とオフィス環境のもと、社員一丸となってさらなる企業価値の向上と持続的な成長を目指してまいります。



所在地：東京都港区新橋4-21-3 新橋東急ビル7F



## 免責事項

本資料は、情報提供のみを目的として作成されたものであり、当社の有価証券の売買の勧誘を構成するものではありません。本資料に含まれる将来予測に関する記述は、当社の判断及び仮定並びに当社が現在利用可能な情報に基づくものです。将来予測に関する記述には、当社の事業計画、市場規模、競合状況、業界に関する情報、成長余力及び財務指標並びに予測数値が含まれます。将来予測に関する記述は、あくまでも当該記述がされた時点におけるものであり、将来変更される可能性があります。将来予測に関する記述によって表示又は示唆される将来の業績や実績は、既知又は未知のリスク、不確実性その他の要因により、実際の業績や実績は当該記述によって表示又は示唆されるものから大きく乖離する可能性があります。当社は、財務上の予想値の達成可能性について明示的にも黙示的にも何ら保証するものではありません。

本資料には、独立した公認会計士又は監査法人による監査を受けていない、過去の財務諸表又は計算書類に基づく財務情報及び財務諸表又は計算書類に基づかない管理数値が含まれています。

本資料には、当社の競争環境、業界のトレンドや一般的な経済動向に関する統計情報及び調査結果、外部情報に由来する他社の情報が含まれています。当社は、これらの情報に由来する情報の正確性及び合理性について独自の検証を行っておらず、いかなる当該情報についてもその正確性及び合理性を保証するものではありません。また、他社に係る事業又は財務に関する指標は、算定方法や基準時点の違いその他の理由により、当社に係る同様の指標と比較対照性が無い可能性があります。